

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>第8回西区アートフェスティバル+音届 【事業費予算 1,750 千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>【目的】 ・西区全体の文化風土を耕して区民の一体感を醸成する。 ・西区でアートの表現活動に取り組んでいるアーティスト等に発表の場を提供し、幅広い区民から知ってもらう。 ・大学の存在をはじめ、学術・文化豊かな西区のパワーを発信する。 ・西区の魅力を発信する。 ・コロナ禍の中、さまざまなイベントが中止となる中、区民に元気を与えたい。</p> <p>【概要】 ・西区自治協議会と新潟大学が共催で実施。 ・音楽の発信の場として、また、多様なアート作品展示により、西区の宝を共有するイベントを開催。併せて、新潟大学の学生が企画・運営した親子で楽しむ音楽イベントを開催。</p>
<p>事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)</p>	<p><西区ゆかりのアーティストによるオンラインコンサート> 令和2年11月8日（日）14:00～15:30 【出演団体】第1部 田辺千枝子(ソプラノ) 山際規子(ピアノ)、第2部 史佳Fumiyoshi (三味線) 【動画配信】コンサートの様子を新潟シティチャンネル (YouTube) で配信</p> <p><アート展示部門> 令和2年11月7日(土)13:00～17:00、11月8日(日)9:00～16:00 黒崎市民会館 【作品内容】 ①新潟大学工学部によるアート作品 ②アール・ブリュット作品 ③区内小学生の自由研究優秀作品 【動画配信】作品の一覧を新潟シティチャンネル (YouTube) で配信</p> <p><ミュージックパラダイス～音の世界へ飛びこもう!～> 令和2年11月8日(日)10:30～11:10 小学生以下のお子さんを対象とした親子で楽しむオンライン参加型イベント</p> <p><来場者・参加者延べ人数等>:1,143人(アート展示部門240人、オンラインコンサート80人、ミュージックパラダイス20人、動画配信(令和3年3月15日現在)アート展示部門364人、オンラインコンサート496人)</p>
<p>事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small></p>	<p>◎アートフェスティバル 【地域課題の抽出とその解決策】 西区は、坂井輪地域・西地域・黒崎地域の3地域で構成されており、各地域の文化活動は盛んだが、西区が一体となった文化活動が見られなかった。そこで、西区出身で音楽活動やアート作品の制作に取り組んでいる方に総合的な発表の場を創出し、区民の一体感を醸成を図った。</p> <p>○オンラインコンサート 【アンケート結果】 ◆調査方法：オンライン回答 ➤オンラインコンサートはいかがでしたか [とても良い…78.9%、まあまあ良い…15.8%、ふつう…0.0%、やや不満…5.3%、不満…0.0%]</p> <p>【評価(成果)】 ・コロナ禍でできる事業を実施しようと、オンラインコンサートと新潟シティチャンネル (YouTube) で動画配信を行った。自宅にいながらでも安心して西区出身アーティストの音楽を楽しんでいただくことができた。 ・オンラインでは、普段では見られない演者の手元や衣装の質感など、細かいところまで見ることができたのが良かった。</p> <p>【課題】 ・オンラインの開催ということで参加者が少なく、情報発信の手法や周知期間について見直す必要がある。周知期間については、コロナの影響で開催内容調整に時間がかかってしまい短くなってしまった。早めに事業内容を決定する必要がある。 ・視聴者のネット環境によるものだが、音が途切れたとの声があった。</p>

○アート展示部門

【アンケート結果】

◆調査方法：来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。◆有効回答：240名

➤アート展示部門はいかがでしたか

[とても良い…40.8%、まあまあ良い…24.1%、ふつう…2.5%、やや不満…0.0%、不満…0.0%、無回答32.6%]

【評価(成果)】

・アート活動をしている大学生、障がいのある方、小学生に発表の場を提供し、また、多くの方に様々なジャンルのアート作品に触れていただくことができました。

【課題】

・作品への案内をわかりやすいよう、案内図や空間づくりを工夫する必要がある。

○ミュージックパラダイス(子どもを対象としたオンライン音楽イベント)

【評価(成果)】

・コロナ禍で様々なイベントが中止となる中、オンラインで安心してイベントに参加いただけた。

・大学生が子ども目線に立ち、事業を企画・実施したことにより、学生にとってもいい学びの場となった。

【課題】

・オンラインの開催ということで参加者が少なく、情報発信の手法や周知期間について見直す必要がある。

備考